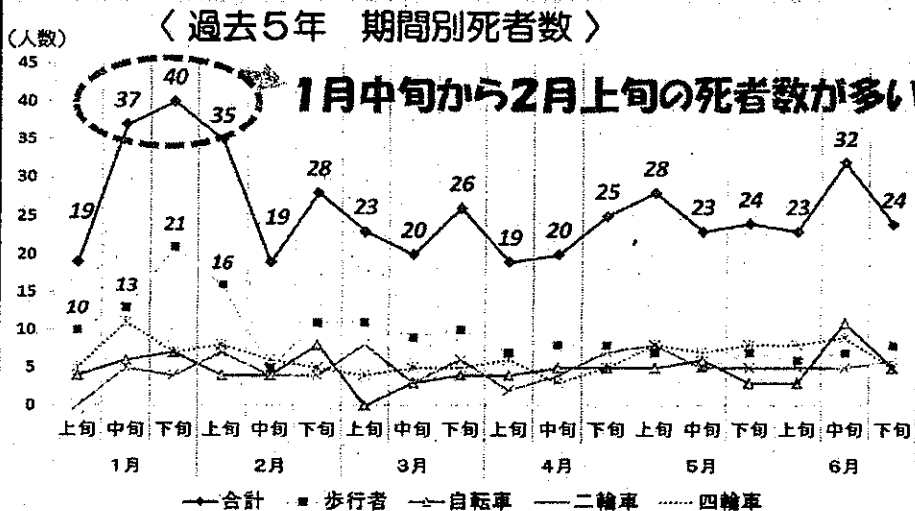
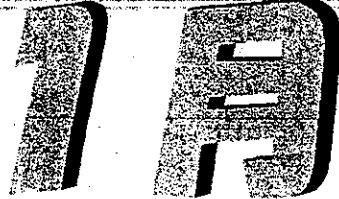


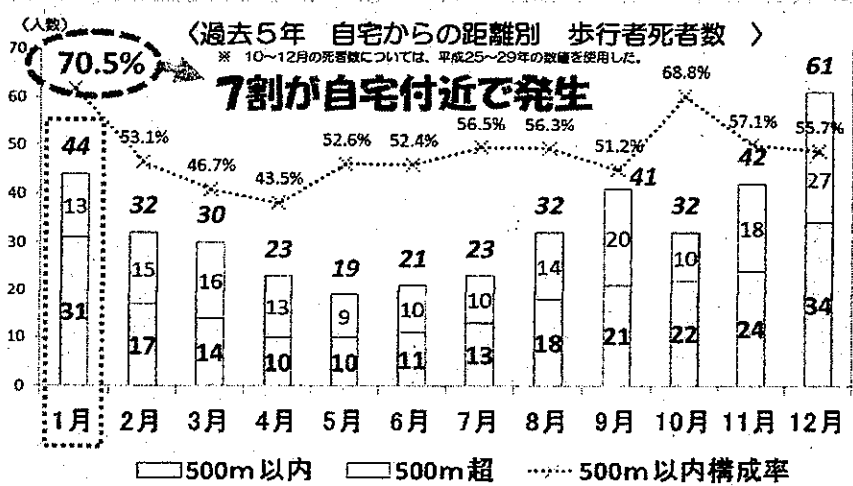
交通事故防止のPOINT

※ 過去5年（H26～H30）に愛知県において発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

1月中旬から死亡事故が急増



歩行者保護で
安全な夏知を



自宅から500m以内で事故に遭った1月の歩行者死者について

- 高齢者が約8割
- 夜間に約8割、反射材の着用者なし
- 通行目的は散歩と買物で約4割

夕暮れ時・夜間は
反射材の着用を！

1月は、年始の休みが明けて人や車の交通量が本格化する中旬以降に、死亡事故が急増し、特に歩行者が自宅付近で被害となる交通死亡事故の多発が懸念されます。

歩行者の方は、ドライバーからの視認性を高めるため、明るい服装や反射材の着用を心がけ、事故に遭わないように気を付けましょう。

対歩行者死亡事故の第1原因のドライバーの半数は業務や通勤途中で、横断歩行者妨害違反が多く認められました。ドライバーの方は、歩行者と錯綜しやすい夕暮れ時は早めにライトを点灯（目安16時）し存在をアピールするほか、速度を控えて、歩行者の行動に気を配るなど、十分注意して走行してください。



高齢者安全対策情報

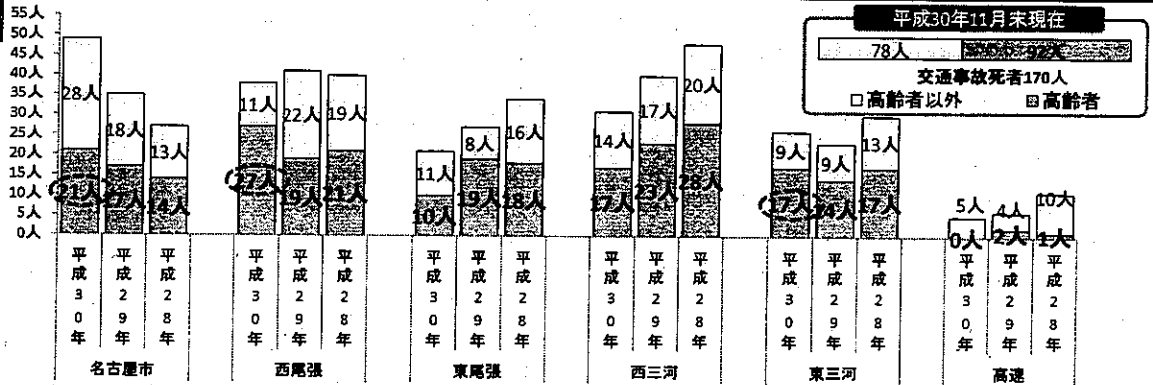
平成30年11月末

高齢者の交通死亡事故実態（各項目とも11月末の比較）



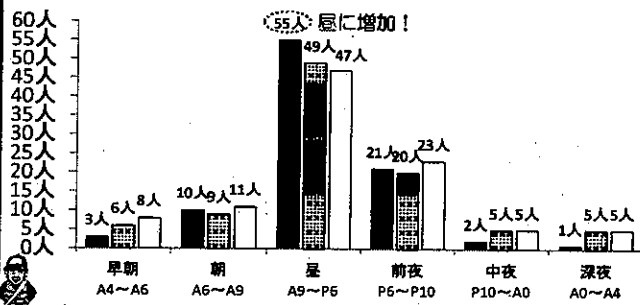
地域別

名古屋市
西尾張
東三河
が増加！



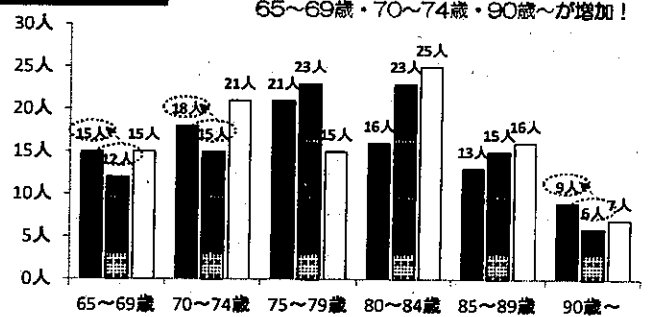
時間帯別

■平成30年 ■平成29年 □平成28年



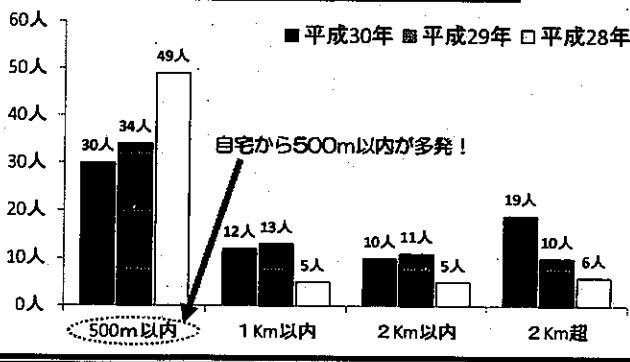
年齢別

■平成30年 ■平成29年 □平成28年



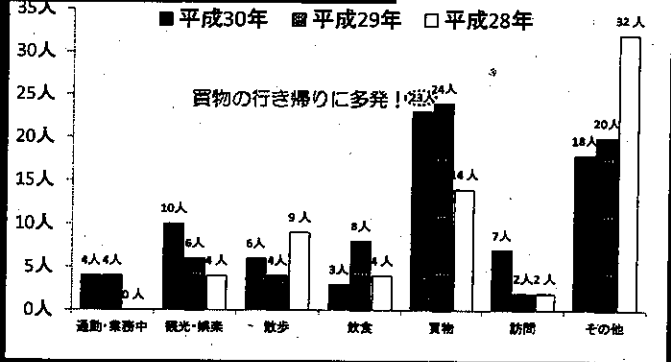
自宅からの距離（歩行者・自転車）

■平成30年 ■平成29年 □平成28年



通行目的（歩行者・自転車）

■平成30年 ■平成29年 □平成28年



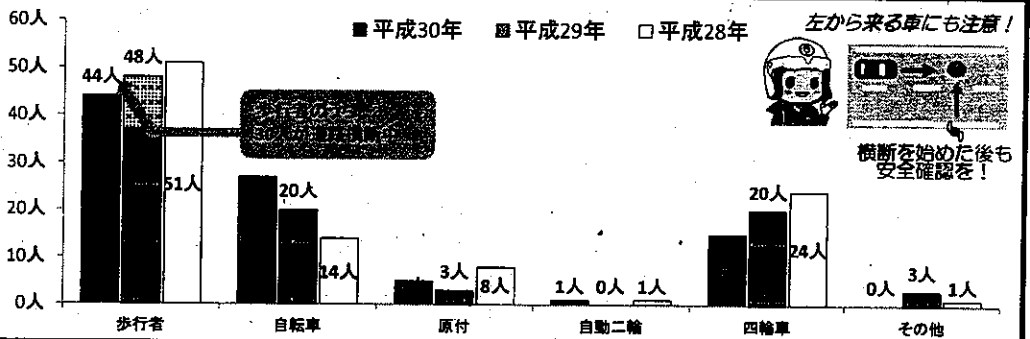
当事者別

平成30年11月末現在

横断中の歩行者から見て
左からの直進車に10人
右からの直進車に9人
がはねられています
(注)右左折の車は除外

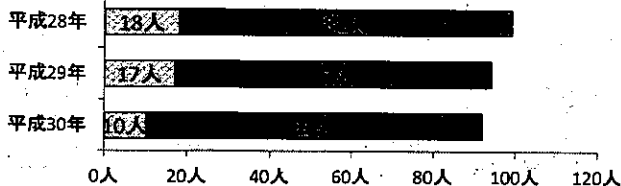
★ 反射材の使用状況
夜間の歩行者21人のうち
使用あり 3人
使用なし 18人

(注)「昼間」とは日の出から日没まで、
「夜間」とは日没から日の出までという。



老人クラブ加入状況

□加入 ■非加入 (不明等を含む)



運転免許の有無（歩行者・自転車）

□有り ■無し

